

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年6月12日

氏名	[REDACTED]		
所属	外国語学部 ([REDACTED]) 研究科	スペイン語学科・専攻	4年次
派遣先大学	アルカラ大学		9ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
2	住居形態の詳細を教えてください。	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど (スペイン人4人、コロンビア人1人、ガーナ人1人、中国人1人と私の計8人。2人部屋が4部屋)
3	入居時手続き	例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (受付で本人確認、その後鍵を受け取る。)
4	費用 (月額)	285 (ユーロ) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	日本で賃貸料全てを払った (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (冷房はなく暖房のみ)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
8	周囲環境	例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (歩いて7分のところに現地では有名なスーパーがある(日曜休み)。寮の前にバス停があるのでこれを利用して駅や学校へ行く。)
9	アクセス	例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (2番バスで学校から寮まで15分弱。)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して): (冬季は非常に寒いので毛布等を買うべき。そして部屋がなんとなく薄暗い。)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
12	詳細を教えてください	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ([REDACTED])

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (vodafoneの店舗に行きSIMを購入。)
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。		
1	宿舍費	285 (ユーロ) /月
2	食費	250 (ユーロ) /月
3	交通費	20 (ユーロ) /月
4	通信費	15 (ユーロ) /月
5	娯楽費	150 (ユーロ) /月
6	図書費	0 (ユーロ) /合計
7	学用品（教科書など）	100 (ユーロ) /合計
8	被服費	500 (ユーロ) /合計
9	医療費	150 (ユーロ) /合計
10	雑費・その他	400 (ユーロ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む） ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舍デポジット	300 (ユーロ) /合計
12	ビザ申請関連費	40000 (円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	210000 (円) /往復
14	その他	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	1400000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：50000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：横浜銀行） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（キャッシュパスポート）	
17	現地で銀行口座開設	していない
18	手続き方法・利点・欠点	
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	クレジットカードは必ず二枚以上持参。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	C18 (10か月分で103220円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	立替の上、後日返金 その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 服、薬、日常用品、スマートフォン、PC、筆記用具
2	現地で購入したもの 服、食料品、日常用品
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていっていたら便利だったもの

VI. 留学先で困ったこと

特になし

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

洗濯ネットはがあると便利です。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	4	年次
氏 名					
派遣先大学 (国)	アルカラ大学 (スペイン)				
所属プログラ ム・ 学部・研究科	La facultad de Artes y Humanidades				
留学期間	2018年9月～2019年5月				
報告書提出日	2019年6月15日				

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9月21日 ～1月21日 (14週)	1月24日 ～2月1日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の1週間は履修登録を削除できる。XX先生に相談し、……
Primer cuatrimestre	9月3日 ～12月19日 (16週)	12月18日 ～ 月 日	前期はアルカラ大学の留学生向けの語学学校「アルカリングア」でスペイン語を学んだ。初日にクラス分けのテストがあるだけで、特別な手続きなどはいなかった。
Segundo cuatrimestre	1月21日 ～5月10日 (17週)	5月16日 ～ 月 日	担当教員と相談した結果、二科目だけ履修を認められたのでその場で登録してもらった。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。
		(内訳)	
【記入例】	International	30時間	講義が月曜日に90分、演習が木曜日に90分。

Fall Semester	relations IIB	1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週)	内容としては講義は……。演習は……。中間試験・ 期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は⑥'【参考資料】授業時 間数について]をご参照ください。
Primer cuatrimestre	Alcalingua(Intensivo de Septiembre)	80 時間 4(時間/回) × 4(回/ 週) × 5(週)	月曜日から木曜日まで各日 4 時間授業 (2 時間授業 後 30 分休憩、その後再び 2 時間授業)。インテン シブコースなので、かなり授業スピードが早いよう に感じた。授業内容は、基礎的なところから接続法 までを学習した。試験勉強は授業中に使用した教科 書やプリントを見返した。
Primer cuatrimestre	Alcalingua(Trimestral de Otoño)	160 時間 4(時間/回) × 4(回/ 週) × 10(週)	月曜日から木曜日まで各日 4 時間授業 (2 時間授業 後 30 分休憩、その後再び 2 時間授業)。クラスが 再編成され先生も変わった。インテンシブコースの 時より授業ペースがゆっくりになり、自分にとって 授業を受けやすい環境になった。扱う内容もインテ ンシブコースより具体的なことを学んだ。
Segundo cuatrimestre	Orígenes de Europa	45 時間 3(時間/回) × 1(回/ 週) × 15(週)	火曜日 2 時間、水曜日 1 時間の授業で古代ヨーロ ッパの歴史を扱う授業。大きく 3 分野に分かれて おり、それぞれの分野ごとに先生が変わる。それに 応じて課題の内容も変わった。しかし基本的に先生 1 人ごとにそれぞれレポートと中間テストが課せ られる。授業で扱った資料等は、生徒がアクセスで きる学校のウェブページに上げられるのでそれを 活用したりしてテストに臨む。
Segundo cuatrimestre	Ciudadanía, Género e Igualdad	45 時間 1,5(時間/ 回) × 2(回/ 週) × 15(週)	火曜日と木曜日にそれぞれ 90 分ずつ授業がある。 こちらは大きく 5 分野ほどに分かれており、それ ぞれの分野ごとに先生が変わる。そして先生ごとに レポートや課題が課される。
Segundo cuatrimestre	Alcalingua	45 時間 1,5(時間/ 回) × 3(回/ 週) × 10(週)	学部での授業数が少ないため自費でアルカラ大学 の語学学校で授業を受けた。テストは最後の週に行 われた。授業をしっかりと受けていれば問題のない 程度の難易度だった。

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

授業中の先生の話はもちろん注意深く聞いていた。しかし学部の授業においては、専門的な言葉がよく出てくるので聞いていても理解できないことが多々あった。だから帰宅後の復習に力を入れたり、友達や先生に分からない箇所は聞いたりメールを送ったりして対処した。語学学校でも学部の授業でも毎日自分の知らない単語や表現が出てくるので、単語ノートのようなものを作り学習に役立てていた。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

留学してすぐの頃は、相手の言っていることを理解するのにかなり苦勞し不安がかなりあった。しかし語学学校での授業が始まり、同じような境遇の友達が出来てからは自分の中に余裕が少しずつ生まれ、聞き取りや会話も落ち着いて出来るようになっていった。日々生活していく中で新しい人と出会ったり友達が出来たりと語学力アップには最高の環境だったので、教えてもらいながら積極的に会話をするようにしていた。定期的に行われる日本人とスペイン人の交流会へ参加しに行ったり、休日や授業後に友達と出かけたりすることで、彼らが使う若者言葉や便利な表現を学ぶこともできた。

1.4 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

自分の言いたいことがスラッとと言えるようになったことから語学力が向上しているということを実感できた。前述したが、スペイン人との交流会などに積極的に参加したことが大いに役立ったと思う。学校で習うスペイン語もちろん重要ではあるが、学んだことを実践する場として、または授業では習わないスペイン語や表現を学ぶ場として

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

前期の授業はアルカリングアでの授業のみだったので、時間にも余裕があり特に困ることもなかった。しかし後期から学部の授業が始まったことで前期よりもシビアになり、課題に追われがちになった。その原因としては歴史系の授業を履修してしまったことかもしれない。私は今まで世界史の授業というものを十分に学習していなかった。そして歴史の授業ではたくさんの固有名詞が出てくるので、見たことのない言葉・人名が出てくるたびに検索したりと、非常に手間のかかる作業が毎日続いた。このことから留学を検討している人たちには学部の授業を履修する際、十分に歴史の知識がない人、歴史の勉強に少しでも不安のある人は歴史系の授業を履修しないことをおすすめする。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

私は今回の留学で様々な人との触れ合いを通じて文化等の違いを学び、また、コミュニケーション能力を獲得できた。定期的に休日や週末にマドリードで行われるスペイン人と日本人の交流会への参加や、そこで知り合った友達、学校の友達と日常を共にし、色々な場所へ行ったことが異文化理解やスペイン語のトーク力向上につながった。もちろん日本では当たり前のことが当たり前じゃないこともたくさんあり、ストレスになることもあったが、郷に入っては郷に従えに則りその違いを楽しみながら生活出来、そしてより日本の良さというものに気づくことが出来た留学生活であった。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

私は留学が始まる前に9か月分全ての賃貸料を払ってしまっていたので、ずっと同じ学校の寮で「共同生活」という形で暮らしていた。家で同じ人間と関わることで信頼関係や忘れられない思い出、友達が出来るので今では非常に良かった、と思えるのだが、留学中は頻繁にストレスを受けていた。私と彼らのライフスタイルの大きな違いであったり、部屋やキッチンをきれいに保つという意識の低さからくるものであった。「共同生活」自体私にとっては初めてのことだったので耐性がなかった、というのも1つの原因だが、その中で我慢しながら生活することはかなりストレスフルであった（彼らに注意やお願いは何回かしたがなかなか直らなかった）。ホームステイ等も同様であると思うが、海外の人と一緒に暮らすということは、当たりはずれもあるが人によっては様々な「違い」からストレスを受けながら生活することになると思う。だからといって共同生活を批判しているわけではない。実際に試してみないと分からないので、留学を志望している方達には住居選びまたは、支払方法は慎重に決めてほしいと思う。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnoteのプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。